

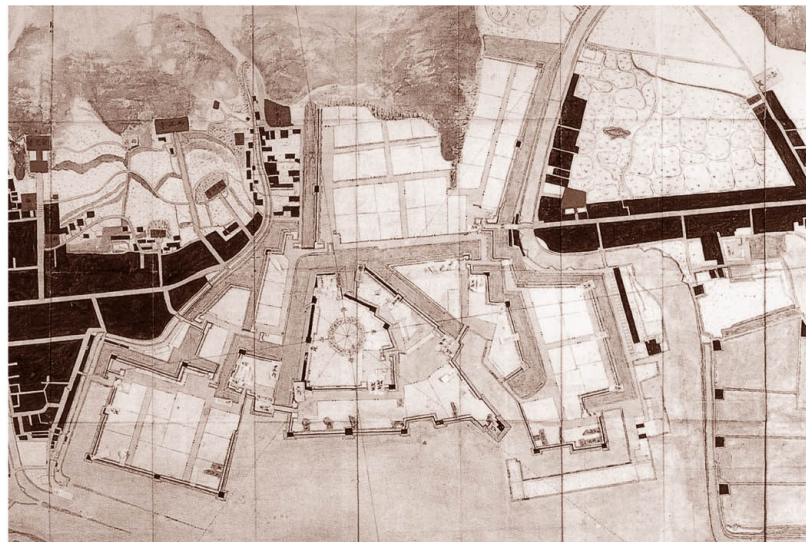
# 城下町みはら

あそび・みる・たべる

浮城とやっさのまちで  
ダルマとタコに会おう

## これが浮城といわれた三原城だ 備後三原繪圖

びんごみはらえず



紙本着色備後三原絵図 天保11年(1840) 三原市立中央図書館蔵

こばやかわ たかかげ  
**小早川隆景が築いた「三原城」**  
戦国時代、安芸の国を治めていた毛利元就の三男にあたる隆景。11歳の時に竹原・小早川家の養子となり、天文19年(1550)に、本家・沼田小早川家の家督を継ぐこととなる。知・勇ともに優れた武将だった隆景は築城に関しても秀でており、本拠であった高山城から、沼田川を挟んだ対岸の新高山城に移り、その後、三原城に本拠を移している。瀬戸内海から見た際、海の上に浮かんで見えることから、別名“浮城”と呼ばれた三原城。高松城・今治城と共に日本三大海城と称されている。



紙本着色小早川隆景像 慶長13年(1608) 佛通寺蔵



**現在の三原城(天主台跡)**  
東西900メートル、南北700メートルという巨大な城だった三原城。小早川氏以後、福島氏・浅野氏の城下町として栄えたが、明治27年(1894)には、山陽鉄道が本丸を貫き、城郭の殆んどが壊されてしまう。現在では三原駅の天主台のほか、駅周辺の数か所に、石積みや水の流れを和らげる“ハネ”などの先人の知恵を垣間見ることができる。

### 明治の三原城(本丸中門跡)



明治40年(1907)、東南の海上から写したと思われる三原城。本丸中門あたりで、老番櫓跡の立派な石積みや門らしきものが見える。まだ浮城のカタチが残っていた。(三原市歴史民俗資料館蔵)

### 現在の本丸中門跡

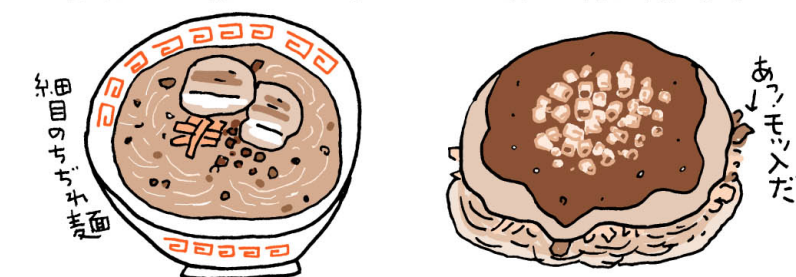


左の写真と同じ方向から撮影した現在の三原城跡。櫓跡はなくなりましたが、石垣は当時のままだ。

## 8本勝負! 城下町みはら名物“ご当地グルメ” 三原のうまいもん8選



**タコ料理**  
三原の特産品「タコ」をつかった料理は絶品。天ぷらなどB級グルメもオススメ。



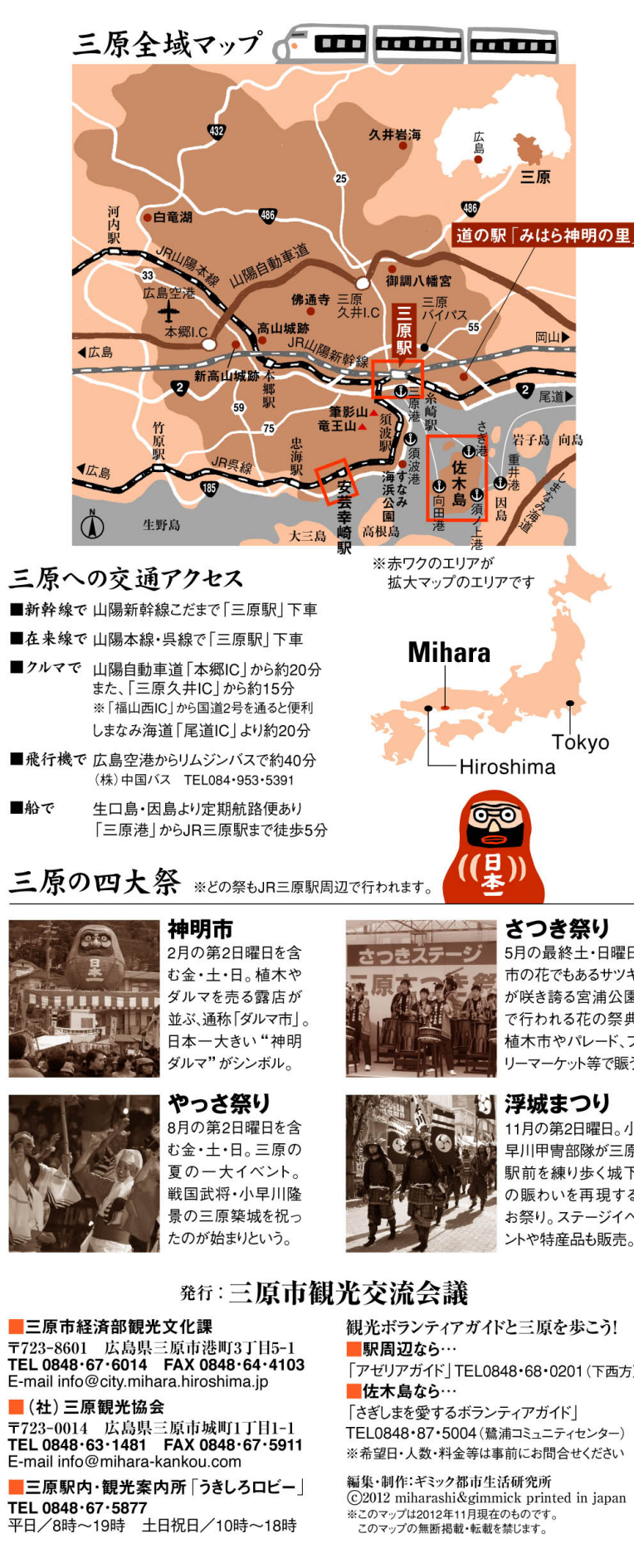
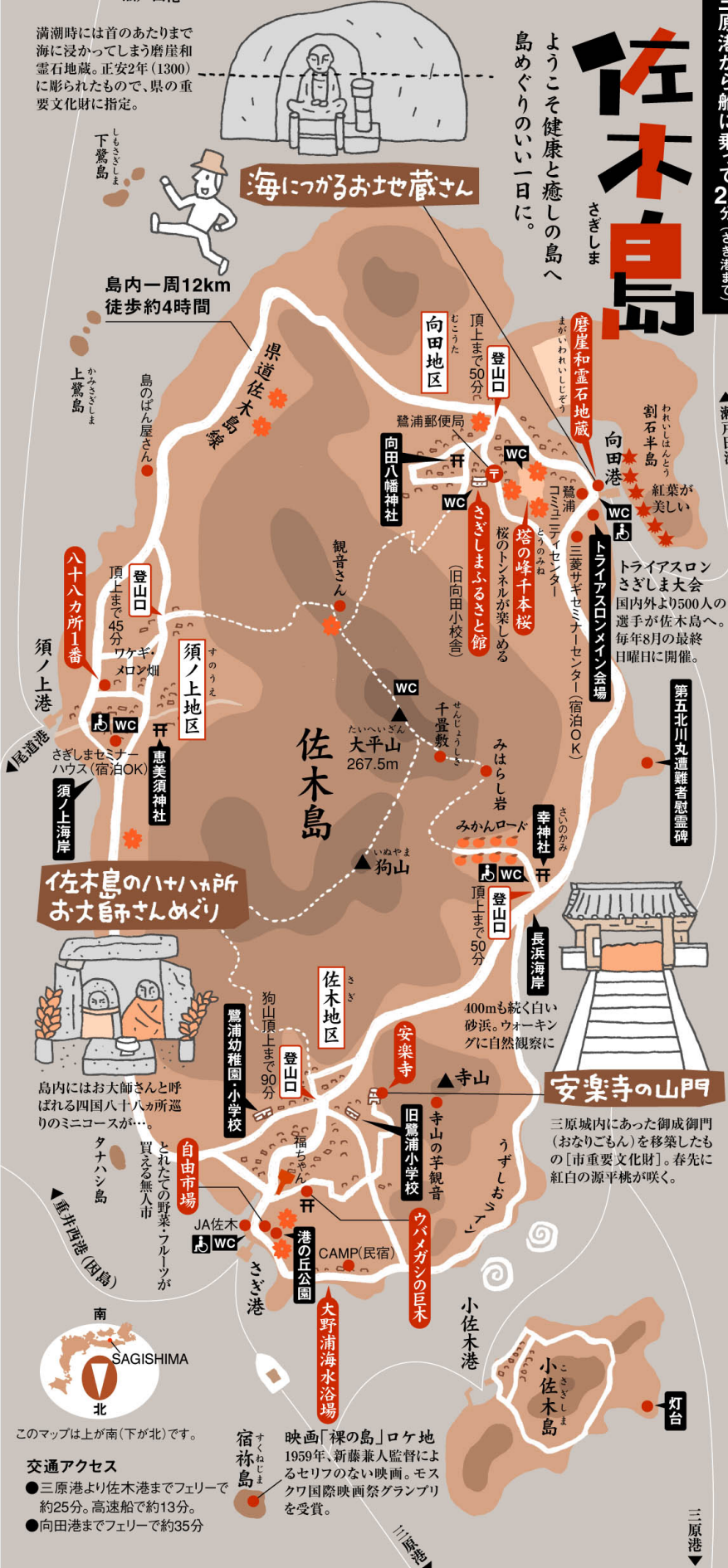
**三原ラーメン**  
細麺・背油・醤油味…お隣の尾道ラーメンとはひと味違う三原ラーメン。あっさり味の店が多い。



**三原流お好み焼**  
三原ではお好み焼にモツが入る店が多い。そば・うどんが入るとなせかモダン焼という言い方に。



**三原のパン**  
東京で話題のクリームパンや根強い人気のバターパンなど。老舗のパン屋さんが今も健在だ。





# 城下町みはら 散策マップ

あるくみるたべる

おすすめ散策コース

かつて浮城と呼ばれ、瀬戸内海に向って築かれた三原城。その城郭のど真ん中に誕生した三原のまち。古くから陸海の要衝として栄えた城下町だ。今でも天主台跡の北側を東西に貫く西国街道、駅周辺には小早川隆景が築いた浮城の名残が点在する。

## グルメ案内

- たこ・魚料理
  - お好み焼
  - ラーメン
  - うどん・そば
  - 喫茶
  - レトロ食堂
  - レストラン
  - お菓子・おみやげ
- ※この他にも飲食店はたくさんあります。

西町小路めぐり 2時間コース 散策距離10キロ	東町神明めぐり 1時間半コース 散策距離8キロ
三原駅 妙正寺 大島神社 阿房坂 宗光寺小路 香積寺小路 大善寺小路 順勝寺 西国街道 三原駅	三原駅 天主台跡 神明大橋 本陣跡 醉心 松壽寺 極楽寺 旭町 三原駅
約40分	約60分

西浜むかし町めぐり 1時間コース 散策距離5キロ	三原城跡めぐり 40分コース 散策距離3キロ
三原駅 本丸中門跡 おさくじ通り 西浜がんぎ通り 帝人通り 三原港 三原駅	三原駅 天主台跡 隆景広場 桜橋 鍛冶曲輪跡 船入櫓跡 本丸中門跡 三原駅
約30分	約20分

■三原城跡・天主台跡へは駅構内より直結している見学コースを歩いて自由に行けます。(入場無料) ■上記歩行時間には個人差があります。あくまで散策の目安としてお考えください。 ■観光ボランティアガイドご希望の方はあらかじめご連絡ください。(ウラ面参照)

